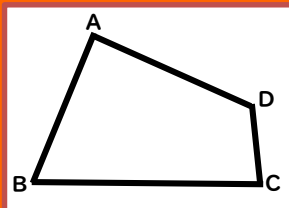


令和2年10月30日
笠井調査官指導助言より

算数の授業力をアップするコツは、机間指導の間に子供のつまずきをなるべくたくさん見つけ、それに対する手立てを考えることです。



【問題】
左の四角形の面積を工夫して求めましょう。

【既習事項】
・正方形、長方形の面積の公式(4年生で既習)
・三角形、平行四辺形、台形、ひし形の面積の公式

子供はどんなところにつまずくでしょうか。予想してみましょう。



子供がつまづかないようにするために机間指導をするA先生の場合

公式が使えるように二つの三角形に分けることはできそうだな。

これでも何れもやっパレ...

底辺と高さを見つけないと、穴埋め式のヒントカードを作ろう。

高さ □ cm

底辺 □ cm

底辺と高さはどこになるかな?

分らない人はヒントカードを使っていいよ。

底辺と高さは書いてあるからあは公式にあてはめればいいね。

「÷2」も忘れずにできましたか?

じゃあまとめのあとで適用題をみよう。

5×4÷2=10
5×2÷2=5
10+5=15
15cm

わかったー

【まとめ】
対角線でいくつかの三角形に分けると、公式を使って求められる。

あれ? これもできない...

先生ヒントカードはー??

子供のつまずきを見取り、効果的な机間指導をするB先生の場合

公式が使えるように二つの三角形に分けることはできそうだな。

これでも何れもやっパレ...

つまずくとすればa 底辺と高さをここにとってよいか分からない。b 高さの垂線が引けない。

この考え方を共有すれば、みんなのつまずきが解決できそうだな。

図形の外に高さをとろうとして悩んでいる手もある。

あ、これは思いつかなかった。E子さんの考え方はおもしろいな。

高さをごとごとしたらいいのか分かりにくかったの、紙を回してみました。

おおっ!! 対角線が底辺に見える!!! 高さも見つけやすい

【まとめ】
対角線でいくつかの三角形に分けて、**底辺と高さを見つけると**、公式を使って求められる。

みんな垂線を正しく引けているし、公式も使えているな。

【振り返り】
E子さんの考え方をを使うと、高さが見つけやすいし、1つの底辺を2つの三角形で使えるので公式にあてはめるときに便利だった。

ここがポイント①
まずは教師が子供のつまずきやすいポイントを事前に予想しましょう。

それを授業の中でどう取り上げるか戦略を練りましょう。

ここがポイント②
机間指導をしながら子供のつまずきをたくさん見つけましょう。

予想になかったつまずきも積極的に探しましょう。

ここがポイント③
子供がつまづいている部分に焦点化して、共有すべき見方・考え方を意図的に取り上げましょう。

その際に出たキーワードは、まとめにも取り入れましょう。

ここがポイント④
適用題を全員が一人で正しく最後まで解くことができたかどうかを確認しましょう。

次時につながる振り返りは全体で共有しましょう。

ヒントカードは有効ですが、ヒントの出し方や内容、使い方によっては「転ばぬ先の杖」になってしまいますね。

本時で子供が学ぶべきことをそのままヒントとして与えるのではなく、それに気付くことができるような手立てを子供の立場に立って考えることが授業力アップのコツなのです。